

# 第三期青森市国保データヘルス計画・第四期青森市特定健康診査等実施計画案について

【資料6】

## 1 計画策定の趣旨等

- (1) データヘルス計画とは  
保険者が、レセプト等のデータ分析に基づき、加入者の健康保持増進を図るための保健事業計画。
- (2) 特定健康診査等実施計画とは  
保険者が、特定健康診査等基本方針に則して、特定健康診査・特定保健指導の実施方法等を定める事業計画。
- (3) 次期計画策定の趣旨  
両計画は、関連する内容であり、令和6年度から令和11年度までを共通の計画期間とする「第三期青森市国保データヘルス計画」及び「第四期青森市特定健康診査等実施計画」を一体的な計画として策定する。

## 2 計画の概要

### 【現状】

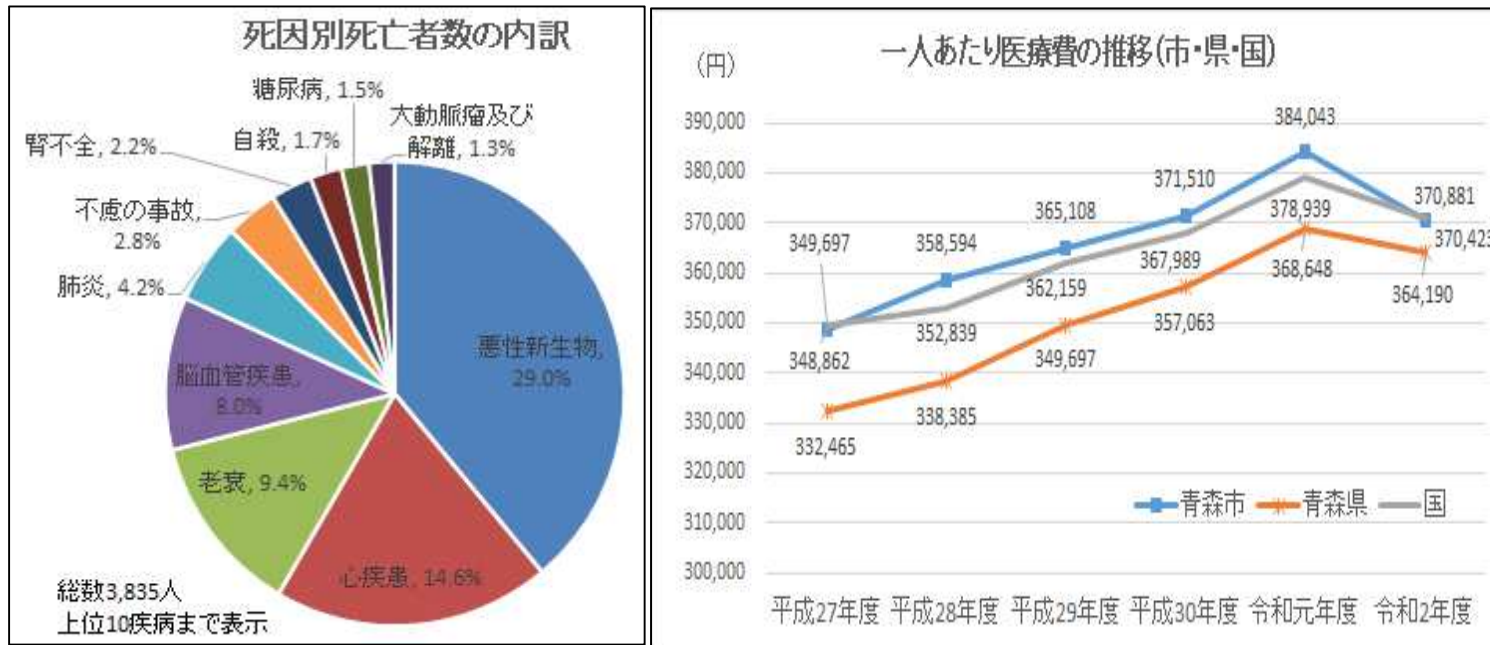
○ 悪性新生物、心疾患、脳血管疾患、腎不全、糖尿病の死亡率は国より高く推移している。

#### 【死因別死亡率（人口10万対）推移】

	青森市					青森県					国				
	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年
悪性新生物	378.3	389.4	397.0	387.0	409.6	391.4	393.2	413.3	404.8	422.3	299.5	300.7	304.2	306.6	310.7
心疾患	186.1	204.9	199.8	184.6	205.5	205.7	213.4	226.2	220.3	231.1	164.3	167.6	167.9	166.6	174.9
脳血管疾患	120.2	113.2	116.8	105.0	112.1	133.4	132.4	129.9	118.1	123.0	88.2	87.1	86.1	83.5	85.2
腎不全	24.5	28.7	32.6	23.0	30.9	29.5	29.7	34.7	32.3	34.8	20.2	21.0	21.5	21.8	23.4
糖尿病	20.2	21.5	21.8	14.6	20.6	19.0	20.2	18.0	17.0	17.3	11.2	11.4	11.2	11.3	11.7

○ 死因別死亡者数の内訳を見ると、悪性新生物が約3割を占め、次いで心疾患、脳血管疾患である。

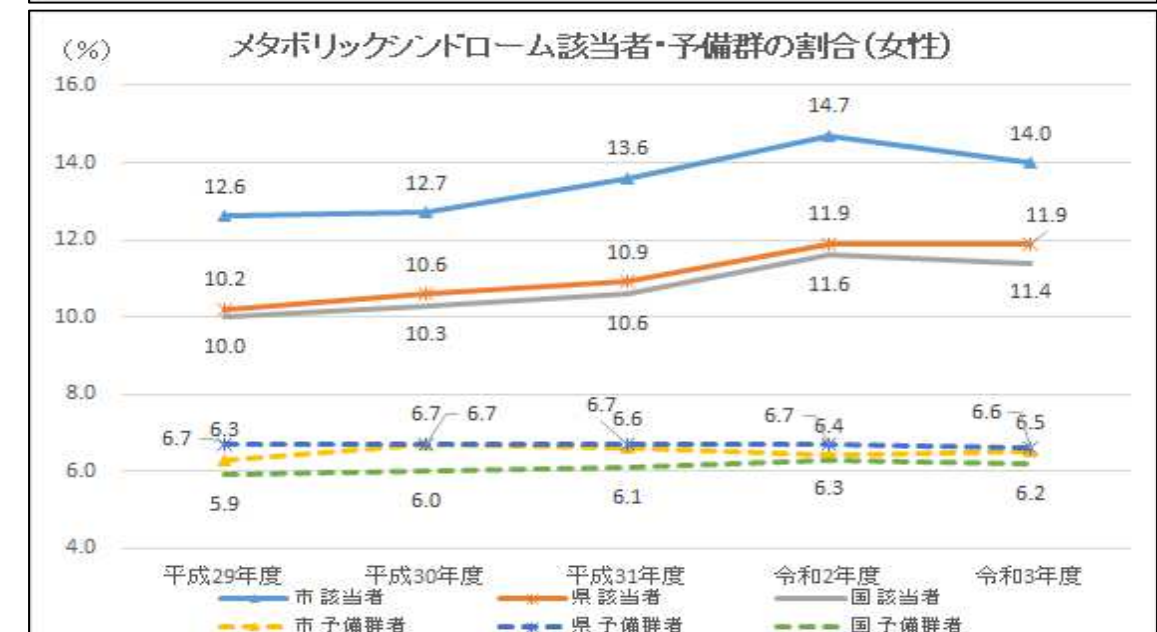
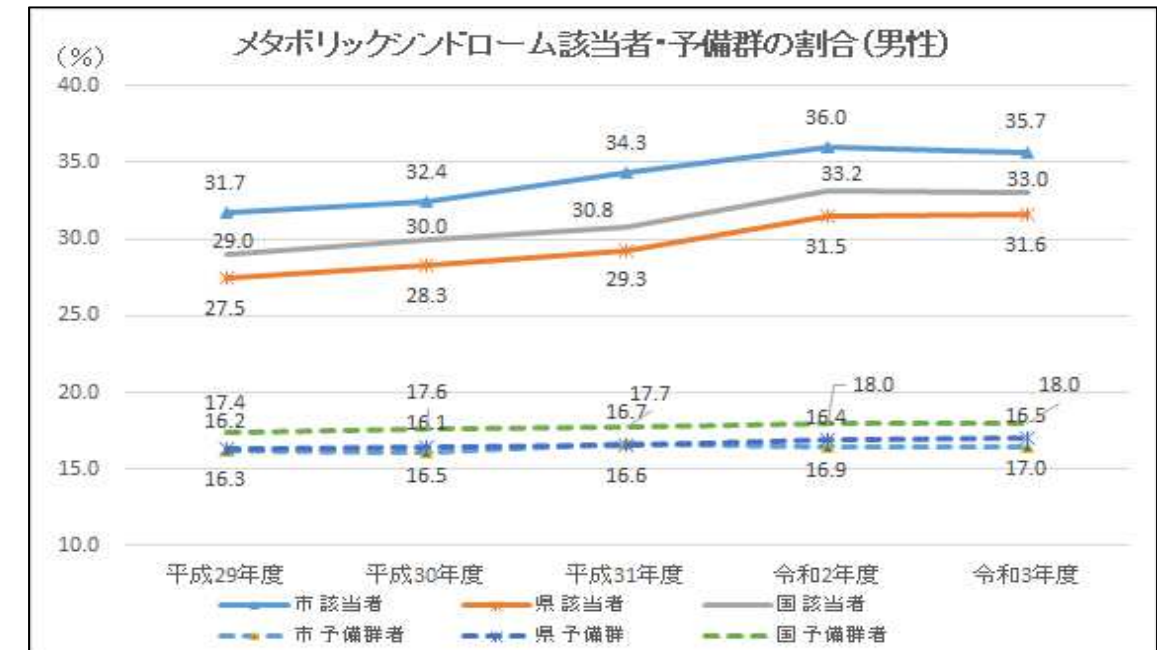
○ 一人あたり医療費は増加傾向にあり、県、国より高く推移している。





○ 糖尿病、高血圧症、脂質異常症、脳血管疾患等、主な生活習慣病に関連する医療費が総医療費に占める割合は県、国より高い。

	平成29年度		令和4年度				
	医療費(円)	総医療費に占める割合	医療費(円)	総医療費に占める割合			
				青森市	青森県	国	
糖尿病	1,405,803,570	6.5%	1,294,679,100	6.7%	6.6%	5.2%	
高血圧症	1,144,222,430	5.3%	748,664,040	3.9%	4.0%	3.1%	
脂質異常症	657,476,560	3.1%	439,811,350	2.3%	2.0%	2.1%	
脳	脳梗塞	328,044,610	1.5%	312,305,750	1.6%	1.6%	1.4%
	脳出血	157,199,410	0.7%	142,640,690	0.7%	0.7%	0.7%
	クモ膜下出血	66,788,810	0.3%	78,236,770	0.4%	0.3%	0.2%
心臓	狭心症	400,961,340	1.9%	243,399,540	1.3%	0.9%	1.1%
	心筋梗塞	119,812,930	0.6%	57,405,010	0.3%	0.4%	0.4%
腎臓	慢性腎不全	891,368,420	4.1%	813,099,060	4.2%	3.8%	4.7%
計	5,171,678,080	24.0%	4,130,241,310	21.4%	20.4%	18.8%	

○ メタボリックシンドローム該当者は男女ともに青森県、国より高く推移している。



## 【課題に関連する目標、主な取組内容】

課題	課題に関連する目標	現状（令和4年度）と目標値（令和11年度） ※令和4年度実績が出ていない項目は令和3年度実績で表記	主な取組内容
糖尿病や高血圧症等の生活習慣病に関連する医療費の割合が高いことから、これら医療費の割合を減少させることが必要。	糖尿病や高血圧等の生活習慣病に関連する医療費の総医療費に占める割合の減少	・総医療費に占める割合 21.4%→減少させる	各取組の実施により、総医療費に占める割合を減少させる。
	医療費の適正化のための訪問保健指導等の実施	・実施率 33.1%→40.0%以上	診療報酬明細書の情報を元に、同一の疾病で複数の医療機関を受診している者等を対象に訪問指導を実施する。 
	ジェネリック医薬品の利用割合（数量シェア）の増加	・利用割合 79.8%→82.3%	青森県国民健康保険団体連合会より、ジェネリック医薬品利用差額通知を対象者へ郵送（隔月）する。
死亡率が高く、医療費の割合も高い糖尿病、心疾患、脳血管疾患等の生活習慣病に対する発症予防・重症化予防対策が必要。	糖尿病判定となる者の割合の減少と糖尿病治療中断者の割合の減少	・糖尿病判定となる者の割合の減少 介入率 93.5%→100% 医療機関受診率 69.6%→90% ・糖尿病治療中断者の割合の減少 介入率 99.0%→100% 医療機関受診率 25.0%→30.0%	血糖値が基準値以上で医療機関未受診の者、糖尿病治療中断者や治療中の者に、糖尿病や合併症のリスクを説明し医療機関への受診勧奨をするとともに、医療機関と連携し生活習慣の保健指導を行う。
これら生活習慣病の要因となり得るメタボリックシンドローム該当者の割合が高いことから、メタボリックシンドロームの早期発見・改善が必要。	特定健康診査受診率の向上	・受診率 36.4%→60.0%	日程や会場等、特定健康診査を受診しやすい環境を整える。 
	特定保健指導実施率の向上とメタボリックシンドローム該当者及び予備群者の割合の減少	・実施率 43.3%→60.0% ・メタボリックシンドローム該当者及び予備群者の減少率 -37.2%→-25.0%を維持	特定保健指導対象者へ電話や個別通知等で特定保健指導の必要性について周知させ利用を促す。
	若年健康診査受診率の向上	・受診率 9.4%→11.2%	個別通知等による受診勧奨を行う。
これら生活習慣病の予防のため、高血圧予防や喫煙対策、運動や食生活等の生活習慣改善の対策が必要。	血圧が保健指導判定値以上となる者の割合の減少	・血圧が保健指導判定値以上の者の割合 50.7%→48.3%	高血圧から引き起こされる循環器疾患(脳血管疾患、心疾患)を予防するため、特定健康診査受診者の「血圧値」について維持・改善を図る(血圧講座等による健康教育、保健指導を実施)。
	喫煙率の減少	・男性 20.8%→20.1% 女性 7.0%→6.0%	出張またはオンラインによる禁煙講座、個別禁煙相談を周知し実施する。
	歯周疾患検診受診率の向上	・(受診率 10.8%→15.8%) ※ ・50～74歳の咀嚼良好者の割合の増加 75.7%→80.0%	「歯と口の健康週間」や健康教育、市の広報誌、市ホームページやフェイスブックなどを活用し、あらゆる機会をとらえて歯周疾患検診の必要性、重要性について周知を計画的に行う。
死因の中で最も多く、死亡の約3割を占める悪性新生物の早期発見と早期治療のため、がん検診の受診率及び精密検査受診率を向上させることが必要。	各種がん検診受診率と精密検査受診率の向上	検診受診率 ・(胃がん検診 16.0%→27.4%) ※・(肺がん検診 10.7%→20.1%) ※ ・(大腸がん検診 19.7%→26.3%) ※・(子宮頸がん検診 11.6%→21.3%) ※ ・(乳がん検診 15.2%→22.8%) ※ 精密検査受診率 ・(胃がん検診 77.8%→100%) ※・(肺がん検診 96.2%→100%) ※ ・(大腸がん検診 63.2%→100%) ※・(子宮頸がん検診 89.2%→100%) ※ ・(乳がん検診 94.5%→100%) ※	がんの早期発見・早期治療のため、各種がん検診の受診勧奨及び精密検査受診勧奨を行う。

※「青森市健康寿命延伸計画」が令和6年10月頃に改定となるため、第二期青森市国保データヘルス計画での目標値を仮置きするもの。